

Title	表紙
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院法務研究科
Publication year	2016
Jtitle	慶應法学 (Keio law journal). No.34 (2016. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20160325--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

第34号

慶應法学

論 説

経済関係罰則ノ整備ニ関スル法律（昭和19年法4号）と会社法967条の罪

（取締役等の贈収賄罪〔利益收受等罪〕）……………伊 東 研 祐

改正個人情報保護法の課題 ……………菅 原 貴与志

詐欺罪における処分行為と財産移転との直接性について……………荒 木 泰 貴

翻 訳

ドイツにおける刑事制裁 ……………フランツ・シュトレング

小池信太郎／監訳

藪中悠・濱田新・荒木泰貴・山田雄大・橋本広大／訳

講 義

所有権的担保……………マウロ・ブッサーニ

ミシエル・グリマルディ

高 秀 成／訳

リサーチペーパー

秩序に彩られる国家……………大 野 悠 介

慶應義塾大学法科大学院
（大学院法務研究科）